

令和7年4月（4月号）

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9時～17時（入館は16:30まで）

休館日：月曜日・休日の翌日 TEL・FAX (0852) 62-1040

■春季企画展 海を越えた布志名焼 ～灘船木窯 180年の歴史～

4月8日（火）から5月18日（土）開催

布志名焼は江戸時代の寛延3年頃に船木与次兵衛村政により開窯したとされます。

村政の三男新造標吉が分家して本船木を名乗ります。そして本船木3代健右衛門の次男平兵衛が1845年に灘船木窯を築きました。それから180年を迎えました。

今回、明治期に輸出品を多く製作した灘船木窯の作品を展示し紹介いたします。



◆乳白釉色絵鳥図蓋付鉢

★関連事業

（1）春の茶会

日時：4月12日（土）午前10時から午後3時

料金：500円（入館料を含む）

定員：30名（事前申し込み優先）資料館まで電話で

（2）ギャラリートーク

講師 船木伸児氏（灘船木窯当主）

日時：4月19日（土）午後1時30分から午後3時 場所：2階展示室

料金：300円（入館料） 定員：20人（事前申し込み優先）

■今月の一品 作品名：片切彫老松文銅額 制作者：塩津正寿（しおつ まさとし）明治28年～昭和54年 制作年代：昭和時代



◆受付横に展示しています。

塩津正寿は松江市の彫金師である初代親次（ちかつぐ）の次男として生まれ、塩津家の2代目を名乗っています。大正2年、東京美術学校金工科彫金部にて海野清に学び、大正7年に帰郷しました。＊片切彫による香炉や花瓶、額、香合などの作品で知られ、初代と共に名工として名高いです。号は嘯月堂（しょうげつどう）、嘯月老と称し、古美術の鑑定家としても知られていました。

この銅額には松が描かれています。片切彫の線を生かして、松独特の樹皮と枝ぶりを表しています。

＊片切彫（かたぎりぼり）とは片切タガネで片方を斜めに彫って線を描く技法です。

■4月のロビー展

無 料

出雲玉作資料館友の会主催

涌田 毅・油絵 展

4月2日（水）～4月29日（火）



ぜひ、ご覧ください。

■【休館日のお知らせ】

4/7(月) 4/14(月) 4/21(月) 4/28(月)

4/29(祝・火)は開館します。

■5月のロビー展は栗原哲朗「春の山野草展」です。苔玉作りのワークショップもあります。